

# 大阪 歯科

## 保険医新聞

7/15  
2011年第1080号  
(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
大阪府浪速区幸町1-2-33  
電話(06)6568-7731(代表)  
http://osk-net.org/  
●定価・年間10,000円 月1,000円  
●1977年5月23日第三種郵便物認可

# 「保険でよい歯科」求め旺盛に

## 議会要請や健診で共感広がる

「保険でよい歯科医療をめざす取り組みが活発になっている。6月12日の第2回保険でよい歯科医療を大阪連絡会総会に前後して、府下各地で健診や意見書採択を求める自治体要請などの活動が旺盛に取り組み、府民や議会のなかで共感が広がっている。9日の理事会では、「保険でよい歯科」署名を早期に2万筆、年内に5万筆集めることを決め、会員の協力を呼びかけている。

### 署名 早期2万筆めざす

「保険でよい歯科」「海外技工物」「学校医療券の対象疾病拡充」の3意見書採択の取り組みでは、三島地区が未採択の市町議会の全会派に懇談を要請。7日までに茨木市議会の自民党・市民会議と共産党、高槻市議会の共産党が応じた。

地区役員が受診中断や低歯科医療費政策など訴えると、議員から驚きの声が続出した。自民党市議

は「大事なことに気づかせてもらった」「勉強して意見書を改めて検討したい」と述べ、共産党市議は「適切な治療が受けられないことは問題。他

でも意見書を探した」「と約束するなど、要請を真摯に受け止めた。堺・高石・和泉地区は各議会に陳情し、6月時点

で堺・泉州の過半数の議会が「保険でよい歯科」一学校医療券の対象疾病拡充の意見書採択し、北河内地区では、婦人団体の要請で6月23日に乳幼児対象の歯科健診を

校方市内で実施した。有地正氏(枚方市)が出務し、子どもの口腔内をチェックした。永久歯が生えてこない「歯の根元が茶色くなっている」など、母親からの質問に丁寧に

答えた。同日17日には、大阪連絡会が大阪市内の

### 税と社会保障の一体改革

中央社会保障推進協議会事務局長 相野谷安孝

政府が進める税と社会保障の一体「改革」は、社会保障の在り方を大きく変質させ、医療にも影響を及ぼす深刻な問題をほらんでいる。一体「改革」について、中央社会保障推進協議会の相野谷安孝事務局長に解説してもらう。



政府・与党は6月30日、「社会保障と税の一体改革案」(以下、「改革案」)を決定した。内容は、社会保障の給付をいっそう抑制・削減する(切り捨てる)一方で、

事業所で歯科健診と健康教室を開いており、両取り組みを通じて保険でよい歯科医療の必要性を訴えた。その場で署名に協力してもらうなど、府民

の共感を呼んでいる。「保険でよい歯科」署名は、全国で50万筆を目指し、大阪府では、街頭宣伝や地区組織を通じた地元団体への協力をお願いしています。署名用紙の追加は協会事務局までお願いします。

体への協力を訴え、早期に2万筆を達成し、年内に5万筆をめざす。

署名用紙の追加は協会事務局までお願いします。

「地デジ」への切り替え工事や早急な混雑して大変ですよ」と連日画面表示している。石油ショックの時に「ちり紙がなくなる」と騒いだのに似ている。生まれた時からテレビが映っていた今の現役世代の人には「テレビ無し生活」は想像もつかぬだろう。

「地デジ」への切り替え工事や早急な混雑して大変ですよ」と連日画面表示している。石油ショックの時に「ちり紙がなくなる」と騒いだのに似ている。生まれた時からテレビが映っていた今の現役世代の人には「テレビ無し生活」は想像もつかぬだろう。

## 「やらざるぶったくり」の改革

### 医療切り捨て、増税進める

2016年までの期限を切って消費税の増税を進めるといふ「やらざるぶったくり」の改革案だ。改革案では、社会保障の「重点化・効率化」を強調し、医療・介護、年金や生活保護などすべての分野で給付削減と負担増を盛り込んでいる。世論を意

識して、高額療養費制度の拡充「低年金者への加算」など国民の要求を一定反映した施策も盛り込

さらには、年金支給開始年齢のさらなる引き上げの検討や、「社会保障と税の共通番号制」の導入まで打ち出した。番号

が従前から求めてきた制度であり、小泉「構造改革」以来の課題だった。企業負担軽減のために70〜74歳の高齢者医療費

低所得者への配慮を本

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)

### 医科歯科連携ポスター作製 今号同封 待合室などで活用を

糖尿病が歯周病に悪影響をもたらすことは広く知られているが、近年、反対に歯周病が糖尿病を悪化させるとの報告が注目されはじめています。患者の歯周病を改善させる上でも医科との連携

が強く求められていることから、協会組織部は医科医療機関との連携を進める趣旨から「歯周病の後ろに、糖尿病が隠れている!!」ポスターを作製した。ポスターは今号に同封して会員に送付す

る。医科協会の会員へは、「からだの健康には、歯の健康がかかわっている場合がある」として配布している。

医科協会会員との連携にあたり、医科医療機関に渡すポスターを希望する会員は、協会事務局

に「からだの健康には、歯の健康がかかわっている場合があります」として配布している。

ただ、他の3権より若いため、良く言えば民衆側に体重を置き、威圧感はない。悪く言えば品格に劣り、柄が悪い。遠くは吉田首相が、近過去で松浪議員が柄の悪い報道陣にコップの水を投げ付けた事件がある。週刊誌の首相批判もメディアの使命だが、非日常的な罵倒言語を駆使する柄の悪さはどうだ。

本紙に同封の歯科ポスター

医科会員に7月5日郵送したポスター

ただ、先生を対象に11月27日、岡山大学大学院教授・高柴正悟氏を講師に「医科・歯科連携」「歯周病と糖尿病」共同研究の進め方(仮)の講習会を開く。共同研究への参加申し込みは協会事務局まで。

気であるならば、上限が高額になり適用者が限定される制度合算総額制ではなく、例えば医療費なら年収300万円以下世帯の個人負担上限は医療機関ごとに月額1000円とするなど、個々の制度ごとに負担上限を設ける措置をすべきだ。この方式であれば「共通番号制」も不要である。また、「やらざるぶったくり」以外の何物でもない。(つづく)